

## ■資源・エネルギーの使用削減

### ゴミのリサイクル

駅のホームのゴミ箱を「新聞・雑誌」「カン・ビン・ペットボトル」「その他のゴミ」に分類。お客さまにゴミの分別に協力していただいています。

2004年度は2,355tが回収され、そのうち新聞やカン、ビンなどはリサイクルされています。



### 石油使用量の削減

非常用発電機の実負荷試験の回数を削減したほか、運転時間の削減により重油の消費量を削減しています。



▲非常用発電機とその内部▶



### 洗車時における節水

車両を洗車する際には、汚れの場所や程度に応じて前面洗車・側面洗車・洗車中止などに分類したほか、汚れの程度に応じて洗車速度をコントロールすることで効率的に水を使用し、水使用量を削減しています。



## ■廃棄物の適正処理

### フロンの適正処理

破棄される空調機に関しては、フロンの適正な回収および破壊処理の実施を推進。

各部門で使用される空調機のリフレオンなどの使用設備台帳を作成し、新設および廃止の管理を徹底しています。

2004年度に破棄された空調機、チリングユニット（小型冷凍機）に関しては、100%のリフレオン回収・破壊を実施しています。

## ■環境配慮設計の推進

### 工事における設計

工事の設計では、消費エネルギーを最小化するインバータ制御機器の採用を推進しています。

また、消費電力量が削減できるLED機器を採用するなど、環境にやさしい施設・設備づくりをめざしています。

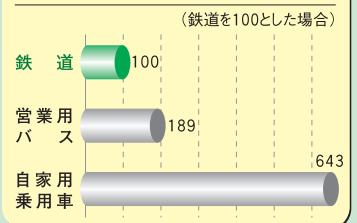
各工事では、「環境配慮設計チェックシート」を作成するなど、計画的に取り組んでいます。

## エコプラス1

### ～ 鉄道利用の促進 ～

鉄道は、その運行に使用されるエネルギーの大半が電力であるため、単位輸送量当たりのCO<sub>2</sub>の排出量の少ない、環境にやさしい交通機関です。当社では、この特性を生かすためにも、より多くの方に利用していただけるよう、駅施設の改善など様々な取り組みを行っています。

1人を1km運ぶのに消費するエネルギーの比較(2003年度)



【出典:国土交通省総合政策局情報管理部 監修「交通関係エネルギー要覧(平成17年版)」】

### ■駅のバリアフリー化

体の不自由な方にも快適に鉄道を利用いただくために、エレベーター、エスカレーターや車いす用スロープ、階段昇降機、身障者対応トイレなどの設置を進めています。

2004年度には、淀屋橋、天満橋、守口市、中書島の4駅にエレベーターを新設・増設しました。



### ■パーク&ライド

大津線では、大津市、京都市と協力し、大津線1日乗車券「湖都古都・おおつ1dayきっぷ」もしくは京都市営地下鉄への連絡乗車券を購入されたお客さまに、浜大津駅に隣接する大津市公共駐車場の1日駐車券を半額で発売しています。

これにより京都市内方面へ向かう自動車利用者の鉄道利用を促進し、CO<sub>2</sub>排出量の抑制に貢献しています。